

令和3年度 事業計画書

社会福祉法人くすの樹会

法人本部

令和3年度 くすの樹会法人本部 事業計画

理 念

私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします。

基本方針

私たちは、私たちが営む施設が社会資源のひとつとして地域に開かれ、地域に暮らす人に愛され、自ら育ち、また育てられることを目指します。

実施事業

保育所の経営

幼保連携型認定こども園の経営

一時預かり事業の経営

事業期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

背景と課題

●法人組織・経営・施設運営について

① 役員等の人員について

平成29年度の社会福祉法改正から4年が経過した。

役員、評議員、監事共に改選時期となるため、令和3年度開始後、当該役員会及び評議員会前に改選のための役員会・評議員会、評議員選任解任委員会の開催を行う。

② 幼保連携型認定こども園への移行について

当法人においては、平成25年11月の役員会にて、法人内の認可保育所については、移行可能な施設については全て幼保連携型認定こども園に順次移行するという正式な意思決定がなされている。これは資金的な目的ではなく、施設の社会資源としての公的な役割を拡大するためである。

令和2年度に鯉田保育園が幼保連携型認定こども園へと移行し、鯉田こども園となった。令和元年度に同時に申請を行ったあじさい保育園については、園舎の構造が移行要件に適合せず移行を見送ることとなった。あじさい保育園の認定こども園移行については園舎の改築を要するため、本年度はこれについて、資金、時期等、具体的な検討に入る。

銀杏保育園の幼保連携型認定こども園の移行については、分園である胡桃館が園庭

要件を満たさず移行が不可であることから、銀杏保育園移行時には胡桃館の保育所として単独化必要である。以前より、施設管理者の育成が課題となっているが、まずは育てるべき人材が定着していなかったため、具体的な計画がなされてこなかった。この点について、まずは本年度、人材育成も考慮した上で、ある程度の時間的な工程表を作成する。

●職員の処遇、職務、人材育成について

① 考課と処遇の連動について

人事考課について、令和2年度から一部の職種を除いて能力考課表の使用を開始した。評価する側の評価基準の均一化を図るための基準については目安となる文章を作成したが、未だに評価者によって評価にばらつきが出ているため、推敲を行い、また評価をどのように行うのか、評価基準の統一を図る研修を実施できるよう準備を行う。

現状、処遇改善Ⅱの支給について、配置換えで担当する業務に変更があった場合、その業務での経験がない者につて、処遇改善Ⅱの支給がなくなる、または下がることがある。制度開始から年数が経ち、要件研修と人材育成の連動が進んできている。既に主任、副主任については役職に支給が固定されているが、本年度からは、職位と支給の固定をもう少し拡充し、安定的なキャリアパスに応じた手当支給となるように設定する。

令和3年度は、副主任トライアル任用を試行する。

② 人材育成計画について

令和3年度は、人材育成計画第3期の1年目となる（別表）。第3期は、第2期5年目を踏襲しながら、IT関連及び公益的な取り組みに関する研修を追加した。令和2年度はコロナ禍で集合研修が軒並み中止になり、後半からはオンライン研修が増えた。オンライン研修は集合研修と比べて現場から参加しやすいことから、令和3年度の開催状況を踏まえて2年目の計画作成に反映させる。

●人材確保について

人材紹介に頼らなくて済む環境を構築することが最大の目標である。特に保育士有資格者については、飯塚地区においても、人材紹介の台頭が目覚ましくハローワークからの求職者はほぼない状態である。求職者の求職活動がスマホを利用したインターネット媒体が主であることから、今年度は求人についてインターネットへの露出を中心に取り組む。また、求職者が知りたい事、見たいものの露出できていることが必要であるため、引き続きSNS等で、実際の施設の様子等を配信していく。

●情報の発信とITツールの利用

① 情報発信のツールに関して

前年度横浜で試験的に取り組んだインスタグラムについて、ホームページの更新

より手軽に公開できるため、職員の感触もよく、比較的回数多く公開することができた。保護者からの閲覧もあり、施設の活動の見える化に貢献している。

インスタグラムでの活動公開については、令和3年度も継続する。前年度は横浜のみで担当者を3名に絞って行ったため、一番小規模である銀杏保育園胡桃館で試験的に機器を導入し、施設全体での取り組みを試行する。

ホームページがかなり古く、SNSとの連動ができず活用が難しいため、情報収集と整理を行い、各施設に提案を行う。

② ICT 使用の促進

2017年度に全園に一齐に導入したICTシステムについて、導入から4年度が経過した。保育記録については、令和2年度に各施設に機器を増設して移行が一部を除いてほとんど完了している。本年度は、一齐メールや保護者への公開ツール等も含めて現場での検証と試用を行う。

●公益的な取り組みについて

例年通り、ほっとルーム、福岡ライフレスキュー、飯塚地域公益活動連絡協議会への参画、地域行事、他の福祉施設との連携等については、例年通り進める。また、連携強化を重視し、各機関と連絡、相談を密に行える関係づくりを行う。

オンラインを使用した交流など、新しい形の活動にも積極的に挑戦する。

法人全体の取り組み重点項目（短期 単年度）

- ① 施設を中心とした保育・教育内容の見直しと充実
- ② 人材確保（実習、インターン等の受け入れ含む）
- ③ 考課マニュアルの改訂と考課者研修の実施
- ④ 情報発信（見える化）とICTの活用
- ⑤ 施設所在地域の公益的な取り組みのニーズ調査
- ⑥ 福祉教育実施先の開拓

法人全体の取り組み重点項目内容（中期 5年）

- ① 保育、教育内容の充実、質の向上
- ② 人材確保と育成
- ③ 次代の役職者の育成
- ④ 多様な働き方の実現に向けた制度の見直し
（職位、職務内容、賃金、育成計画の合理性の精査）
- ⑤ 他機関との連携強化による公益的取り組みへの対応力の多様化
- ⑥ 福祉教育の推進

法人全体の取り組み重点項目内容（長期 10年）

- ① 次世代の経営管理者の育成
- ② ニーズに合わせた法人の事業内容の策定
- ③ 安定した運営資金の確保と管理

法人本部事務局

本年度も本部の採用は行わず、現行の2名の体制でスタートする。施設事務職員の配置と育成を強化する。

事務局取り組み重点項目（短期 単年度）

- ① あじさい保育園の幼保連携型認定子ども園移行準備
- ② 事務職員の人材確保と育成
- ③ 今後の事業展開の在り方に関する情報収集
- ④ 公益事業の展開力強化（特に困窮者支援事業担当職員の育成）

事務局取り組み重点項目（中期 5年）

- ① 施設事務職員の雇用、教育（飯塚）
- ② 各施設のハードのライフサイクルコストに基づいた資金計画の明確化
- ③ 今後の事業の在り方に関する情報収集

事務局取り組み重点項目（長期 10年）

- ① 鯉田子ども園園舎建替えと資金計画
- ② 本部事務局と施設事務の切り分けと連携システム構築の完結

社会福祉法人くすの樹会 人材育成研修計画書

等級 (給与)	基本業務	職位	人事考課	研修			必要な資格・ 職歴	めやす	必要な資格・ 職歴	めやす	研修		必要な資格・ 職歴	めやす
				内部研修	外部研修	保育					調理	看護		
5等級 以上	管理監督	施設長	全職員	中堅所長研修(10年以上)	中堅所長研修(10年以上)	中堅所長研修(10年以上)	教諭免許状及び保育士資格を有し、かつ、5年以上の教育職または児童福祉事業の経験があるもの	25	教諭免許状及び保育士資格を有し、かつ、5年以上の教育職または児童福祉事業の経験があるもの	25	初任所長研修 社福 会計実務研修 中級 (中央福祉学院) 労働に関する研修 *ただし保育士・幼稚園1種取得のこと	初任所長研修 社福 会計実務研修 中級 (中央福祉学院) 労働に関する研修 *ただし保育士・幼稚園1種取得のこと	初任所長研修 社福 会計実務研修 中級 (中央福祉学院) 労働に関する研修 *ただし保育士・幼稚園1種取得のこと	初任所長研修 社福 会計実務研修 中級 (中央福祉学院) 労働に関する研修 *ただし保育士・幼稚園1種取得のこと
		副施設長		初任所長研修 社福 会計実務研修 初級 (中央福祉学院)	初任所長研修 社福 会計実務研修 初級 (中央福祉学院)	初任所長研修 社福 会計実務研修 初級 (中央福祉学院)	初任所長研修 社福 会計実務研修 初級 (中央福祉学院)	初任所長研修 社福 会計実務研修 初級 (中央福祉学院)	初任所長研修 社福 会計実務研修 初級 (中央福祉学院)					
4等級	計画指導 外部渉外	主任	(能力・業績)	主任保育士特別講座(主任昇格3年以内)	主任保育士研修 危機管理研修 防火管理講習会	主任保育士研修 危機管理研修 防火管理講習会	防火管理者 法人内実働経験	20	施設事務職員としては該当なし (保育士資格取得後のため、 主任保育士参照、以降保育士の欄に移行)	20	主任保育士研修 危機管理研修 防火管理講習会	主任保育士研修 危機管理研修 防火管理講習会	主任保育士研修 危機管理研修 防火管理講習会	主任保育士研修 危機管理研修 防火管理講習会
3等級	判断業務	副主任	全職員	包括的地域支援に関する研修	包括的地域支援に関する研修	包括的地域支援に関する研修	包括的地域支援に関する研修	15	包括的地域支援に関する研修	15	包括的地域支援に関する研修	包括的地域支援に関する研修	包括的地域支援に関する研修	包括的地域支援に関する研修
		リーダー		保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修	保育研修 救命救急講習 危機管理研修
2等級	定型業務	一般職員	(情意)	実践研修(絵画、音楽、体育・わらべうた等)	実践研修(絵画、音楽、体育・わらべうた等)	実践研修(絵画、音楽、体育・わらべうた等)	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	8	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	8	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師
1等級	基本業務	新任職員 無資格	接遇態度	食育研修 乳児保育研修 障害児保育研修 子育て支援・育児相談研修 アレルギー研修 保育環境設定研修 公益的取り組みに関する研修 動画編集研修(IT) ICT使用研修	食育研修 乳児保育研修 障害児保育研修 子育て支援・育児相談研修 アレルギー研修 保育環境設定研修 公益的取り組みに関する研修 動画編集研修(IT) ICT使用研修	食育研修 乳児保育研修 障害児保育研修 子育て支援・育児相談研修 アレルギー研修 保育環境設定研修 公益的取り組みに関する研修 動画編集研修(IT) ICT使用研修	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	10	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	10	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師	保育士 管理栄養士 もしくは栄養士 看護師

あじさい保育園

令和三年度 あじさい保育園事業計画

保育理念

私たちは、私たちがかかわる子どもたちが成長し社会の役に立つ人になることを願って、日々の保育に専念します。

保育方針 明るく素直な心・強い心を育てる

保育目標

- * 自分を大切にし、他の人にも大切にすると育てます。
- * 自ら考え、選り取る目を持ち工夫することができ、多くの困難に出会っても乗り越えられる子に育てます。
- * 優しさや、思いやりの心を素直に表現することができる強い心をもった子に育てます。
- * しなやかでのびのびした心と体をもつ、人として豊かになる子に育てます。

以上の子どもたちを育てる為に職員は福祉施設で働く職員としての意識を高く持ち、それぞれの専門性を発揮しながら自己研鑽を日々忘れることなく、保育に励みます。

1. 実施事業

① あじさい保育園保育事業

- ・ 乳児保育 (産後休暇明けからの受け入れ)
- ・ 延長保育 (18:00～19:00): 有料
- ・ 休日保育 (原則 8:30～16:30): 無料
園児以外の児童の市内・市外受け入れ: 有料
- ・ 地域活動 (二瀬地区事業参加[クリーン作戦]・共同募金街頭募金活動)
- ・ 世代間交流事業 (いずみ福祉軽費老人ホーム・デイサービス・いずみのもり)
- ・ 子育て支援事業: 毎週2回本園開放・毎週2回鯉田つどいの広場いづかへ出前保育、飯塚市すくすくサークル担当

② 一時預かり事業 (原則 8:30～16:30): 有料

(8:30 以前・16:30 以降は 30 分 200 円に対応)

2. 年度期間 令和3年4月1日から、令和4年3月31日まで

3. 入所児童数 令和3年4月1日現在157名入所（160名定員）

4. 開所時間 午前7時～午後7時
（18時以降19時までは延長保育で有料）

5. 保育時間 午前9時～午後5時（8時間）

6. 職員体制 36名

- ・ 施設長 1名
- ・ 主任保育士 2名
- ・ 副主任保育士 1名
- ・ 保育士 22名 常勤11・短時間11（産休・育児休暇中2名）
- ・ 調理員 7名 常勤6名 短時間1名
- ・ 看護師 2名 常勤1名 短時間1名
- ・ 事務員 1名 本部事務局
- ・ 嘱託医師 こどもクリニックもりた森田潤院長
- ・ 嘱託歯科医師 はやま歯科医院葉山揚介院長
- ・ 非常勤講師 濱崎けい子（読み聞かせ）
大屋省子（わらべうた）
藤野芳乃（剣舞）
植田晃太郎（和太鼓）

7. 今年度の取り組み

- ① 終息が見えないコロナウイルス感染症に対して、前年度と同様に取り組みを進め、子どもの育ちを保障していくことを第一に考えて保育を進めていかなければならない。今年もコロナウイルス感染症対策等をはじめ、色んなことでの会議を多く持ち進めていく。新入園児の受け入れ等で安定した保育の提供ができるように職員の連携を密にし、けがや事故が起こらないよう安全第一に進めていく。
- ② 未満児クラスは、育児担当制の園内研修（リモート研修）等で、他の園の情報も取り入れ、あじさい育児マニュアルを活用してなぜなのかを追求しながら、議論して理解を深め進めていく。以上児クラスも同じように園内研修（リモート研修）等で、質問をしながら、実践を重ね保育を積み上げていく。個々から集団へと変わっていく時期に生活習慣の確立、異年齢の小集団での活動を取り組むことで、お兄ちゃん、お姉ちゃんへの憧れをもち、生活していく

こと、5歳児は小さいお友達のお世話などいろんな経験をさせながら、楽しい保育園生活が送れるように進めていく。同じく5歳児の久住登山については、昨年のログハウスの利用についての連絡不行き届きとオーナーの高齢化で管理等が十分出来ないという理由で、今後利用をさせていただけなくなった為、今後は昨年利用した北九州市の平尾台の登山に、切り替える計画を立てていく。

- ③ 職員の雇用については、ハローワークの活用、早期の大学回りや、ブース等で保育園のアピールをしていきながら、長期働ける人材確保をしなければならぬ、業務の分担や時間の使い方などを工夫して働きやすい環境を整えていく。職員のコミュニケーションを大事に、活気ある職場を継続できるようにしていく。
- ④ 認定子ども園への移行については、再度書類等を提出してスムーズに移行できるように、鯉田を見本にしながらか計画的に進めていきたい。
- ⑤ 園舎が建て替わり、10年経つと少しずつ消耗する部分が出てきているので、日々の点検を行っていく。
- ⑥ 地域の方に保育所としての機能を地域に伝える方法を考え行動していく。

8. 中長期計画

・長期計画

くすの樹会の法人理念を基に「あじさい保育園保育目標」を継承していくため、第三者評価の受審や人材確保を基本方針として計画的に行なう。

職員のやる気を起こし活気ある職場雰囲気を作っていく。

保育所機能を利用し、地域のニーズにも答えていけるシステムを構築する。

・中期計画

くすの樹会の法人理念を基に、保育目標を達成するために第三者評価での評価を検証しながら、育児マニュアルの見直しを行い、保育内容を深め職員の保育力を定着させていく。

人材確保をするために職員が働きやすく、時間内にパソコンなどを利用し計画的に職務を遂行できる環境を整えていく。

地域の方に保育所としての機能を理解してもらう取組を行い備えていく。

令和3年度研修計画書(案)

あじさい保育園 (R3.4.1-R4.3.31)

日付	園内研修			食育研修			県内			県外		
	研修名	参加人数 (人)	支出額(円) (講師料)	研修名	参加人数 (人)	支出額(円) 参加費 旅費	研修名	参加人数 (人)	支出額(円) 参加費 旅費	研修名	参加人数 (人)	支出額(円) 参加費 旅費
4月	育児担当制研修 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 5名										
5月	育児担当制研修 わらべうた 和太鼓	保育士全員 5名					飯塚市保育協会研修会 福岡県保育士協会保育士会 筑豊地方保育協会保育士会	7 1 1				
6月	育児担当制研修 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 5名		筑豊地方保育協会保育士会 筑豊地方保育協会保育士会(給食研 究)	6 1		筑豊地方保育協会保育士会 福岡県保育士協会保育士会 筑豊地方保育協会保育士会 (給食研修会)	15 1 5		第33期主任保育士・保育主幹教諭特別講	1	
7月	育児担当制研修 わらべうた 和太鼓	保育士全員 5名		令和3年度食中毒予防講習会 飯塚市保育協会(合同)食育関係研修会	1 1		飯塚市保育協会(合同)食育関係研修会 筑豊地方保育協会保育士会 福岡県保育協会保育士会	1 1 1				
8月	育児担当制研修 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 5名					福岡県保育士協会保育士会 筑豊地方保育協会保育士会	1 2				
9月	育児担当制研修 わらべうた 和太鼓	保育士全員 5名					福岡県発達障がい支援研修会 福岡県保育協会保育士会研修	2 1		全国保育士会研修会	1	
10月	育児担当制研修 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 5名		令和2年度調理研修会	1		飯塚市保育協会研修会 福岡県保育協会保育士会研修	5 1		全国保育士会研修会	1	
11月	育児担当制研修 わらべうた 和太鼓	保育士全員 5名					福岡県保育協会保育士会研修 飯塚市保育協会研修会 胡荽輪放研修会	1 5 1				
12月	育児担当制研修 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 5名					児童虐待研修	1				
1月	育児担当制研修 わらべうた 和太鼓	保育士全員 5名					飯塚市保育協会(研究会)	2				
2月	育児担当制研修 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 5名					筑豊地方保育士協会保育士会	1		子育てセミナー実践交流セミナー	1	
3月	育児担当制研修 わらべうた 和太鼓	保育士全員 5名					筑豊地方保育士協会保育士会 筑豊地方保育士協会保育士会	2 2		全国保育士会研修会	1	

鯨田こども園

令和3年度 鯉田こども園事業計画

1. 方針

- ①くすの樹会の基本方針に基づき「明るく素直な心・強い心」をもつ子どもたちに育てるように職員は保育に専心していく。
- ②「ひとり、ひとりを大切にした保育」を保護者と連携をとりながら、進めていく。
- ③保護者のニーズに応えながらも、子どもの最善の利益を保障(優先)する保育・教育を行う。
- ④世代間交流(ふれあい交流会)を中心に、地域との交流を図っていく。
- ⑤園内・園外の研修計画を作成し、キャリアパスを考えながら、個々の職員の資質の向上を図るとともに、リーダー職員の育成を図る。
- ⑥職員全員が同じ方向性で保育・教育を進めることができるよう、保育理念や目標、育児マニュアルなどの理解、実践を深めていく。
- ⑦子どもたちが、より自主的・積極的に活動できる環境作りのためにも、個々の職員のリスクに対する意識を高め、情報の共有を図る場を作っていく。
- ⑨認定こども園の研修を積極的に取り入れ、保育・教育を深めていく。

2. 実施事業

①保育事業

- ・乳児保育(産後休暇明けからの受け入れ)
- ・延長保育(午前7時から午前7時30分
午後6時30分から午後7時まで:有料)
- ・休日保育(原則 午前8時30分から午後4時30分:無料)
あじさい保育園にて合同で行う
- ・世代間交流事業(地域とのお年寄りと自園での交流会・地域のいきいきサロンへの参加)
- ・子育て支援事業:毎週2回(火・金曜日の園開放)
毎週2回(月・木曜日 あじさい保育園と交互に担当)
つどいの広場いづかへ出前保育・飯塚市すくすくサークル担当
- ・地域活動(地域の文化祭、サークル発表会・つどいの広場誕生まつり参加)

②一時保育事業(原則 午前8時30分から午後4時30分:有料)

3. 事業年度期間 令和3年4月1日から、令和4年3月31日まで

4. 入所児童数 令和3年4月1日現在 110名
(1号認定1名、2号認定65名、3号認定44名)

5. 開所時間 午前7時から午後7時(午前7時から 午前7時30分
午後6時30分から 午後7時 までは有料)

6. 教育・保育時間 午前8時30分から午後4時30分

7. 職員体制 合計29名

・園長	1名
・主幹保育教諭	2名
・保育教諭	20名(常勤 10名 短時間 10名)
・保育教諭補助	1名(短時間 1名)
・看護師	2名(短時間 2名)
・栄養士兼調理員	3名(常勤 3名)
・嘱託医師	細川小児科医院
・嘱託歯科医師	横手歯科医院
・学校薬剤師	井上啓介
・非常勤講師	濱崎けい子 (読み聞かせ) 大屋省子 (わらべうた) 植田晃太郎 (和太鼓)

8. 今年度の取り組み

① 新型コロナウイルス感染拡大防止については、昨年度の対策や経験を等を踏まえ活かしながら、状況の移り変わりに併せ職員で連携し、子どもたち・職員の安全安心を守り過ごせるようにする。

日々の保育教育や、年間の行事予定についても、子どもたちの大切な経験を奪う事無く取り組んでいく事を前提に、状況を見ながら進めていく。

職員の研修等についても、リモート研修が主流になっている中ではありますが、保育教育の質の向上の為に積極的に受講していく事が出来るように進めていく。

②3歳未満児クラスのケアワーク担当制保育を入職職員に伝えていく為、また深めていく為、職員全体が育児マニュアルを正しく理解し、誰もが同じ方向を見据えしっかりと意識しながら、常に同じ状態で子どもと関わられるようにする。

③3歳以上児クラスにおいては、たて割り保育の充実・展開を図れるよう、また保育・教育(5領域)内容をさらに見直し、計画的に進められるようにしていく。

園外保育をはじめ、年長児が行う活動を広げる。

たてわり保育の継承が出来るよう、課業・テーマ活動と記録を効率的に取り、たてわり職員

だけでなく、職員全体で共有できるものにする。

- ④年長児の園外保育を始め、地域との交流での活動など園外での活動を広げ、いろいろな経験をもとに、遊びや友だち、地域の方との関わりを深めていくと共に、公共でのマナーやルールを学ぶ。
- ⑤ 絵本の楽しさ、おもしろさを子どもたちに伝えられるよう、引き続き講師による“読み聞かせ”の時間や、月刊絵本での読み聞かせとともに、年齢や興味に応じた絵本の読み聞かせの充実をはかる。その為にも、図書を整えていく。
- ⑥ 子どもたちと家庭的な雰囲気の中で、落ち着きゆったりとした時間を大切にする事、また伝承遊びを楽しめるよう、引き続き講師による“わらべうた”の時間を中心に、わらべうたの充実を図る。
- ⑦ 食育についての関わりを深めていき、保育教諭と調理が連携を取りながら栽培やクッキング保育などを計画的に進めていく。

長期的計画

・施設面

- ・建てかえを見通し、施設整備積み立てを行う。

・職員

- ・安定した雇用が出来るよう、努める。
そのためにも、働きやすい職場であるよう環境(働き方・時間等)を整える。
- ・職員の向上心や積極性を上げられるよう、キャリアパスを考えた職員教育に力を入れる。
- ・絵本、音楽等専門的に取り組める職員の育成を行う。
- ・こども園として、教育(福岡県私立幼稚園振興協会の実施によるものなど)に関する研修を積極的に受講していく。

・保育、教育

- ・1号認定の園児の受け入れや移行を積極的に行い、こども園としての役割を果たしていく。
- ・自主性を育み、自ら考え行動できる子どもに育てる。
- ・同年齢だけでなく、広い範囲での仲間として、異年齢の相手に対して優しくできる子どもに育てる。
- ・興味・関心を持って取り組むとともに、集中力や持続力をもつ子どもに育てる。
- ・地域の中での活動を広げる。

中期的計画

・施設面

- ・建て替えを見通し、安全面・衛生面・快適性などを考慮しながら、修繕を行っていく。

・職員

- ・短時間職員の常勤への移行や、勤務時間数を増やしていけるようすすめ、安定した職員の雇用を行う。
- ・若い職員の、クラスチーフとしての資質の向上を図る。
- ・キャリアアップの研修についても、計画的に着実にを行い資質の向上を図る。

- ・幼稚園教諭免許の更新が完了していない職員に対し、計画的に進めていく事が出来るように情報の提供や共有を行う。
- ・幼稚園教諭免許を取得していない職員に対し、計画的に進めていく事が出来るように情報の提供や共有を行う。
- ・保育、教育
 - ・育児担当制により、2歳から以上児への移行がスムーズにすすむようになる。
 - ・たてわり保育の充実から、子どもたち自らが自分たちのしたい活動について考えられるようになる。
 - ・異年齢児間で、遊びや活動の継承が出来ていく。

短期的計画

- ・施設面
 - ・建て替えを見通し、耐用年数から考えて必要となる修繕や買い替えなどを行う。
特に老朽化が見られる配管の点検・補修、ボイラーの点検・補修。
- ・職員
 - ・常勤職員の雇用を進め、短時間職員の時間の延長を勧める。
 - ・実習生を積極的に受け入れ、人柄などをしっかり見極めながら、雇用に繋げていけるようにしていく。
その為にも、職員一人ひとりの実習生の受け入れ態勢に対しての意識付けをしていく。
 - ・幼保連携型認定こども園についての研修・飯塚市保育士会以外での研修案内も随時知らせ、一人ひとりにあった必要な研修に積極的に参加出来るように勧め、資質の向上を図る。
 - ・記録の取り方や行事の準備など、計画的に出来るよう見直しをしていく。
 - ・自己評価等から、自分達の課題や出来ているところを見つけ、保育に対する意識の向上を図る。
 - ・職員自らが、様々なことに興味関心を持ち挑戦し、保育の幅を広げたり深めていく事が出来るよう援助する。
- ・保育、教育
 - ・図書の本の整理・管理を行いながら、子どもたちの年齢や興味関心に応じた蔵書を増やしていき、絵本の貸し出しへと向けた準備を進める。
 - ・食育の面では、栽培保育を積極的に行い、クッキング保育を計画的に行う。
 - ・安全・衛生・リスクマネジメントへのマニュアルの整理や作成を行い、それぞれが熟知することによって、しっかりと意識を持って行動できるようにしていく。

令和3年度 研修計画書(案)

綾田こども園 (R3.4.1-R4.3.31)

日付	園内研修			食育研修			県内			県外		
	研修名	参加人数(人)	支出額(円) (講師料)	研修名	参加人数(人)	支出額(円) 参加費 旅費	研修名	参加人数(人)	支出額(円) 参加費 旅費	研修名	参加人数(人)	支出額(円) 参加費 旅費
4月	和太鼓	4										
	読み聞かせ	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
5月	和太鼓	4										
	わらべうた	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
6月	和太鼓	4										
	読み聞かせ	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
7月	和太鼓	4										
	わらべうた	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
8月	和太鼓	4										
	読み聞かせ	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
9月	和太鼓	4										
	わらべうた	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
10月	和太鼓	4										
	読み聞かせ	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
11月	和太鼓	4										
	わらべうた	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
12月	和太鼓	4										
	読み聞かせ	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
1月	和太鼓	4										
	読み聞かせ	保育教諭全員										
	わらべうた	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
2月	和太鼓	4										
	読み聞かせ	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
3月	和太鼓	4										
	わらべうた	保育教諭全員										
	育児担当制研修	保育教諭全員										
小計			0			0			0			0
合計			0			0			0			0

子育て支援交流セミナー

銀杏保育園

2021 年度 銀杏保育園事業計画書

1. 保育理念

社会福祉法人くすの樹会の法人理念に基づき、保育所としての使命を果たすことを目途に、私たちが関る子どもたちが社会の役に立つ人に育つことを願い、日々の保育に専念する。

2. 基本方針

社会福祉法人として当法人が目指してきた保育所の役割とは何か、保育所が、施設の使命である「保育」と同時に、保育所という器とそこに揃っている人的資源を、身近な地域にどう活かしていくかが課題として取り組んできた。

その課題に取り組むの幅を広げ、深めていくためには法人職員としての育成、定着が不可欠であり、最大の課題である。

神奈川県保育士の平均勤続年数が約 6 年弱、更に多様な働き方の増加に伴い、配偶者の扶養範囲内あるいは派遣就労希望が多く、子育て中の正規職員についても、自子の通園する保育所の送迎のために、働ける時間が固定され、フルにシフトに入れる職員に限られるために、一部の職員に時間外勤務としての負荷がかかる状況である。

他方、保育士資格を取得し、異業種から転職してくる職員、他の福祉専門職からの転職も多くなってきており、保育だけの視点からものを見るのではなく、多様な視点から保育を見直すことができる、良い機会であるにとらえている。

職員処遇の整理と、人件費の配分については、時間や責任負担の重い正規職員に不利にならないよう整理しつつ、多用なスキルを持った人財が活躍できるように、離職防止に関しては、管理者である施設長及び主任保育士と職員のコミュニケーションを引き続き活性化することや、法人理念を理解し、安定したスキルを持ち、保育現場での軸となる中堅職員の育成を図る必要がある。

また、コロナ禍により、ICT の活用が進んだが、すでに導入されているものを、使いこなせていなかった現実が露呈されたため、中堅職員以下、若い職員を中心に ICT の効果的な活用を進めていきたい。

以下、基本方針として取り組む課題を抽出する。

- ① 法人職員として働き甲斐を持って継続して働ける環境を構築する。
- ② 保育内容の充実と安定を図り、利用者が安心できる保育園作りをする。
- ③ 中堅職員の育成を図る。
- ④ 正規職員、短時間職員の適正な処遇に関する整理をする。
- ⑤ ICT の効果的な活用を進める。

3. 2021 年度重点項目

- ① 法人理念、保育理念の共通理解と、実施している日常保育を客観視し、保育内容を深める。
- ② 保育の方向性を一致させ、銀杏及び胡桃館の職員同士が協力関係を保ちやすくするために、定期的な合同職員会議を開催する。
- ③ 施設長、主任保育士、中堅保育士の意思疎通に重きを置き、法人の考え方を、短時間職員にまで浸透させることに努める。
- ④ 法人理念、目指す保育に関して全職員に浸透させるために、ハンドブック作成等、具体的な方策に取り組む。
2021 年度は、前段階として、入園のしおり（重要事項説明書）の見直しを行い、保育の「全体的な計画」及び各クラスの年間保育計画書を「入園のしおり」に綴りこんで、保護者に配布し、職員に対しては合同研修で周知を図り、子どもの心身の育ちの連続性に基づいた、やったことの掲示だけでない、保育の計画性の面での「保育の見える化」を進める。
- ⑤ 副主任候補者に、1 年間のトライアル期間を設定し、中堅職員の育成と、次期リーダー候補の育成を図る。
- ⑥ 研修及び会議での ICT 活用と、職員間の業務連絡に個人的なメールが多用されている現実があるのを抑制し、業務連絡用の ICT ツールの導入を図る。

4. 中期目標（2018 年 4 月～2023 年 3 月）

- (1) 園内研修を通し、保育内容の充実をはかる。→2021 年度は、外部講師によるオンライン研修を、偶数月は横浜地区、奇数月は飯塚地区で行うが、相互に視聴できるように設定した。
- (2) 地域との交流を意識的に増やしなが、銀杏保育園や胡桃館でできる地域貢献を探る。胡桃館では、地域開放スペースを活用する。
- (3) 年間休日を 10 日間増やし、実質上の処遇改善を行い、職員の自己研鑽がしやすい環境を整える。→ 2019 年度から、年間 105 日から 115 日に増やし平成 31 年度より有給休暇 5 日を加え実質 120 日の年間休日とした。
(1)～(3)の状況を評価し、保育の質向上と、職員の資質向上に役立つ環境づくりを行なうために、組織内で働き方のルールを確立、周知する。
- (4) 他機関、他法人との連携を行ないながら、地域交流の充実を図る。
 - ・中期目標は、年度ごとに修正を加えながら、3 年後に中間まとめを行なう。
 - ・公益的取組みについては、模索しながら取り組む。

5. 長期目標

- ・管理職の育成を図り、施設経営の安定を図る。
- ・銀杏保育園については、建設後10年を目処に建物本体の点検を行い、必要に応じて修繕を行う

2021年度は、開園10年目となるため、年内に建物躯体及び設備の点検を依頼し、修繕を要する箇所について洗い出しを行い速やかに理事会にかける。

6. 実施事業

銀杏保育園保育事業

銀杏保育園胡桃館保育事業

一時預かり事業

7. 事業年度

2021年4月1日から 2022年3月31日

8. 開所時間（銀杏保育園・銀杏保育園胡桃館）

午前7時から 午後8時まで（13時間開所）

9. 定員

銀杏保育園 定員 60名

定員（一次締切3月1日現在：二次締切は3月10日）

0歳児 6名(3名) 1歳児 8名(8名) 2歳児 10名(9名)

3歳児 12名(11名) 4歳児 12名(11名) 5歳児 12名(11名)

定員計 60名（2021年3月1日一次締め切り時点 53名）

銀杏保育園胡桃館 定員 44名

定員（一次締切3月1日現在：二次締切は3月10日）

1歳児 7名(5名) 2歳児 7名(7名)

3歳児 10名(9名) 4歳児 10名(9名) 5歳児 10名(8名)

定員計 44名（2021年3月1日一次締め切り時点 38名）

総合計 104名

10. 職員体制

施設長 常勤 1名
主任保育士 常勤 1名

保育士 常勤 銀杏 4名 胡桃 4名
短時間 銀杏 9名(6.84) 胡桃 10名(3.5)
保育補助 常勤 銀杏 1名 胡桃 0名
短時間 銀杏 1名(0.6) 胡桃 0名
看護師 短時間 銀杏 1名(0.5)
定員配置基準 銀杏 7.8名(11.94) 胡桃 4.64名(7.5)
3月1日現在配置基準 銀杏 5.54名(6名)・胡桃 3.95名(5名)

調理員 常勤栄養士 銀杏 2名
短時間栄養士 銀杏 1名(0.93)
常勤調理員 胡桃 1名
短時間調理員 銀杏 2名(0.9) 胡桃 1名(0.45)
その他 短時間用務 1名
総計常勤 15名 短時間 26名

嘱託医 銀杏保育園 和田医院院長 和田 隆
銀杏保育園胡桃館 伊東医院院長 伊東 均
嘱託歯科医 銀杏・胡桃館 さち歯科医院院長 佐知 崇司

令和3年度 銀杏保育園 職員研修計画表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園

日付	園内研修			食育研修			県内			県外		
	研修名	参加対象	研修内容	研修名	参加人数	研修内容	研修名	参加人数	研修内容	研修名	参加人数	研修内容
4月	園内研修	全職員	応急救護研修				幼保小連携研修		小学校見学、講演会			
	育児担当制研修	全職員	担当制保育の基本編									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
5月	育児担当制研修	全職員	乳児・異年齢の保育			食中毒対応						
	園内研修	全職員	育児担当制の基本									
6月	育児担当制研修	全職員	担当制保育の基本、見直し									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法			給食を通しての栄養管理						
	園内研修	リーダー	マニュアル見直し									
7月	園内研修	全職員	育児担当制の基本			食育計画と実践						
	育児担当制研修	全職員	乳児・異年齢の保育									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
8月	育児担当制研修	リーダー	乳児・異年齢の保育									
	園内研修	全職員	育児担当制の基本									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
9月	園内研修	全職員	前期自己評価									
	読み聞かせ	全職員	読み聞かせ実践									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
	育児担当制研修	保育士	乳児・異年齢の保育									
10月	育児担当制研修	全職員	乳児・異年齢の保育			幼児食調理実習研修会						
	読み聞かせ	希望者	読み聞かせ実践									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
	園内研修	全職員	応急救護									
11月	園内研修	全職員	育児担当制の基本									
	育児担当制研修	全職員	乳児・異年齢の保育									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
12月	読み聞かせ研修	全職員	読み聞かせ実践									
	新保育所指針勉強会	希望者	新指針の勉強会									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
	園内研修	リーダー	マニュアル見直し									
	育児担当制研修	保育士	乳児・異年齢の保育									
1月	園内研修	全職員	感染症対策									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
	育児担当制研修	保育士	乳児・異年齢の保育									
2月	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
	園内研修	リーダー	次年度に向けて									
	育児担当制研修	保育士	乳児・異年齢の保育									
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法									
3月	園内研修	全職員	後期自己評価									
	育児担当制研修	全職員	担当制、異年齢保育									

※わらべ歌、読み聞かせ、絵本読み聞かせ、自己研鑽による自主研修も積極的に参加